

看護基礎教育のあり方に関する懇談会

ヒヤリング

平成20年6月2日
独立行政法人国立病院機構
矢崎 義雄

論点メモ

- 看護教育の多様性をどうとらえるか
 - ・3年教育の問題点は何か
 - ・2年教育の現状認識は

- 看護教育は4年必要である
 - ・養成校を大学化して時のコスト負担、インフラ整備のための人的、財政的資源は？
 - ・スケールの問題
 - 400校、2万人卒業生の養成校の全てを大学化することは可能か
 - ・3年教育+1年実習（授業料免減）は意味あるか
 - ・「療養の世話」を中心とした看護業務と担当する人材は確保できるか

- 保健師教育を大学教育に取り入れることの問題点は

- 看護師の業務分担の明確化と層別化